

学校教育に有効なジャパンナレッジの機能

田中政司 (m-tanaka@netadvance.co.jp)

株式会社ネットアドバンス

■発表主旨■

ジャパンナレッジは2001年にサービスを開始したデータベースで、現在、国内外の約800機関で利用されている。主に大学を中心とした教育機関で利用されることが多く、研究者や学習者の声に耳を傾け、コンテンツ開発・機能開発を行ってきた。

ここ数年、出版界では書籍の電子化が大きく進み、様々なプラットフォームで電子化された資料を閲覧することが日常的になってきた。

一方で、我々が提供するDBでは、その性格上、閲覧よりも検索性や発見性を重要視したアプローチをとってきた。辞事典に期待される検索性を書籍にも広げ、コンテンツ全体で“百科空間”を実現しようとしてきたわけである。

今回、ジャパンナレッジの概要を紹介しつつ、どういう経緯や背景で現在の機能を獲得するに至ったかを説明し、今後、学校教育に必要な電子資料の機能や在り方を議論させていただきたい。

JapanKnowledge

画像電子学会 第46回VMA研究会

学校教育に有効な ジャパンナレッジの機能

2019/3/16

株式会社ネットアドバンス
田中政司
m-tanaka@netadvance.co.jp

JapanKnowledge

ジャパンナレッジ (JK) とは? ①

辞書・事典などのレファレンス資料を中心に、学習や研究で使用頻度の高い人文系資料類を検索・閲覧できる有料のデータベース・サービス。2001年にサービスを開始した。法人向けと個人向けのサービスを展開している。



JapanKnowledge

ジャパンナレッジ (JK) とは? ①

辞書・事典などのレファレンス資料を中心に、学習や研究で使用頻度の高い人文系資料類を検索・閲覧できる有料のデータベース・サービス。2001年にサービスを開始した。法人向けと個人向けのサービスを展開している。



JapanKnowledge

JKとは? ②

現在、国内外の約800の機関にサービスを提供中。大学や研究機関、図書館、中学校などで利用されている。ここ3-4年で中学校校での契約が目に見えて増加した(現在、112契約)。

(中学校の契約校のうち東京を抜粋)

東京			
青山学院南校	国学院大学中学校	筑波大学附属中学校	日本第二学園
私立津田	品川区女子中学校・高等学校	田園調布学園中学校・高等学校	富士見中学校
横浜国立大学女子中学校	三浦工業大学附属中学校	東京女子大学附属中学校	文京学院女子中学校
関学院	渋谷区立中学校	東京女子大学附属世田谷中学校	文教大学付属中学校
かえり有明中学校	港区立中学校	東京女子大学附属品川区立中学校	明治学院中学校
学芸大学 中野・高野科	白百合学園中学校	東京女子大学附属目黒区立中学校	明治大学附属中学校
神田女学院中学校	成蹊中学校	東京都立大蔵前中学校	聖光学院中学校
原宿女子中学校	聖光女子中学校	東京都立大目黒区立中学校	聖光女子中学校
星野女子中学校	大東文化大学第一中学校	東京都立大目黒区立中学校	聖光女子中学校
尾山台女子中学校	三井学園	東京都立大目黒区立中学校	聖光女子中学校
工学院大学附属中学校	工学院大学	東京都立大目黒区立中学校	聖光女子中学校
香蘭中学校	中央大学	東京都立大目黒区立中学校	聖光女子中学校
国際学院大蔵前中学校	中央大学附属中学校	東京都立大目黒区立中学校	聖光女子中学校

JapanKnowledge

JKとは？ ③

主なコンテンツとしては、レファレンス系の大型辞書のほか、語学系辞書。専門性の高い「群書類従」「鎌倉遺文」「週刊東洋経済デジタルアーカイブズ」といった資料もオプションで追加可能。



JapanKnowledge

JKの読み物系コンテンツ



JapanKnowledge

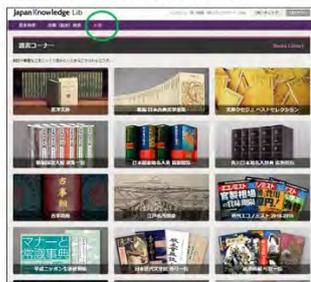
JKの読み物系コンテンツへのアプローチ

キーワード検索によるアプローチ



「日本書紀」で見出し検索。7番目に「東洋文庫」、8番目に「新編日本古典文学全集」がヒット。

「本棚」タブからのアプローチ



読み物系コンテンツ向けに用意された「本棚」タブ。本棚から読みたいシリーズ⇒書籍を選んで読むことができる。

JapanKnowledge

週刊エコノミスト



2002年、最初に搭載された読み物系のコンテンツ。辞書は経済情報のアップデートに十全にフォローできないため、経済誌を搭載することでカバーすることを旨とした。

JapanKnowledge

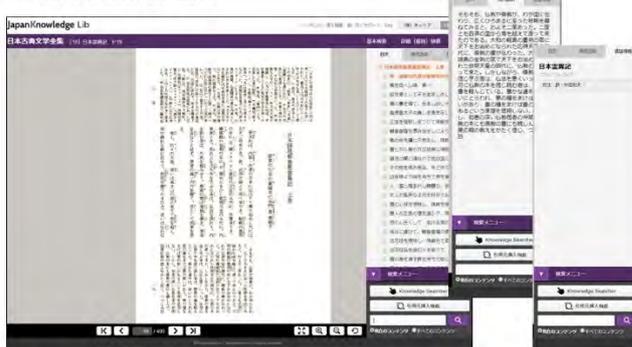
東洋文庫



2003年に搭載。テキストデータはなく、版面PDFを閲覧用に表示。OCRで取得したテキストデータを検索用のインデックスとして使用するも、データの精度は低い。

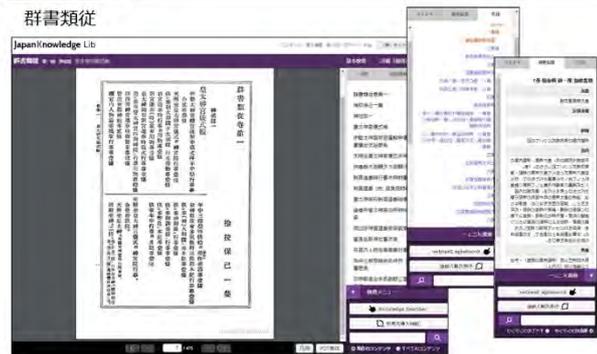
JapanKnowledge

新編日本古典文学全集



2010年に搭載。右側のタブ内に「目次」「現代語訳」「書誌情報」のタブを用意。レイアウトは、読注、古典本文、現代語訳をもつ「新編～」の特徴を出すために版面表示としている。

JapanKnowledge



2014年に買切り商品JKBooksとして掲載。右側のタブ内に同じく「目次」「書誌情報」「テキスト」のタブを用意。JISで表示できない文字が多いため、専門性の高い資料（史料）はPDF表示のほうがよい場合も多い。

JapanKnowledge



2012年～15年にかけて随時掲載。全文をテキストで持ったため、通常のHTMLベースの横組みで表示。読書系コンテンツというよりも調査資料的な用途のコンテンツとして開発。

右側の目次、本文下のナビゲーションのリンクで操作する。

11

12

JapanKnowledge



2016年にJKBooksとして掲載。通常のHTMLベースの横組みで表示と、縦組みでの表示画面を用意した。

13

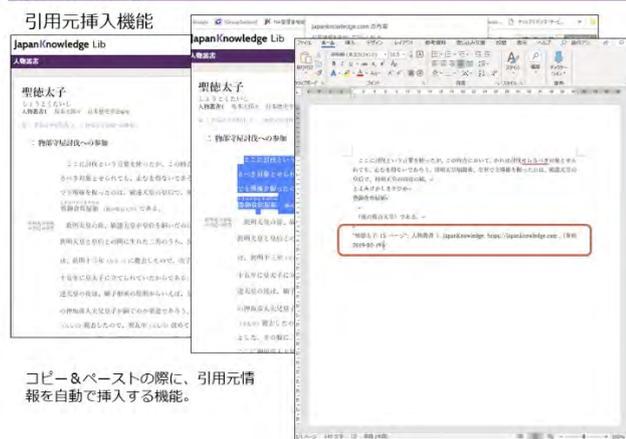
JapanKnowledge



意味を調べたい語句をハイライトすることで、別の画面で辞書検索を行い、読書をサポートする。

14

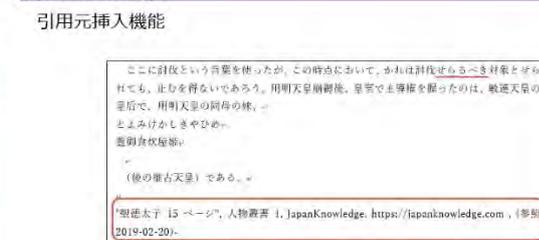
JapanKnowledge



コピー＆ペーストの際に、引用元情報を自動で挿入する機能。

15

JapanKnowledge



- ①「項目名（ページ数）」
- ②書籍名（シリーズ名、辞書名）
- ③JapanKnowledge
- ④URL
- ⑤参照年月日

の基本情報が自動的に挿入される。順番や記述方向については、教科の先生方に確認するように指導している。

16

参考文献／参考 URL

[1] ジャパンナレッジ <https://japanknowledge.com/>